



2020年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月14日

上場会社名 サイジニア株式会社
 コード番号 6031
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長
 四半期報告書提出予定日 2020年5月14日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 URL <http://www.scigineer.com/>

(氏名) 吉井 伸一郎
 (氏名) 石塚 雅一 (TEL) 050-5840-3147
 配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 2020年6月期第3四半期の連結業績(2019年7月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第3四半期	733	—	△35	—	△34	—	△36	—
2019年6月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2020年6月期第3四半期 △36百万円(—%) 2019年6月期第3四半期 一百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期第3四半期	△17.39	—
2019年6月期第3四半期	—	—

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

2. 2020年6月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2019年6月期第3四半期の数値及び対前年四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年6月期第3四半期	684	440	61.9
2019年6月期	—	—	—

(参考) 自己資本 2020年6月期第3四半期 423百万円 2019年6月期 一百万円

(注) 2020年6月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2019年6月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年6月期	—	0.00	—	—	—
2020年6月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年6月期の連結業績予想(2019年7月1日～2020年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、当第3四半期より、連結決算へ移行しておりますが、添付資料P3.「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」に記載のとおり、現時点では業績に与える未確定な要素が多いため、業績予想を数値で示すことが困難な状況です。2020年6月期の業績予想については、合理的に予測が可能になった時点で公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社(社名) デクワス株式会社、除外 ー社(社名) ー

(注) 当第3四半期連結会計期間において、DSP事業等を営むデクワス株式会社の株式を新たに取得し、連結の範囲に含めております。なお、みなし取得日を当第3四半期連結会計期間末日である2020年3月31日としているため、当第3四半期連結会計期間は貸借対照表のみを連結しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年6月期3Q	2,109,186株	2019年6月期	2,109,186株
② 期末自己株式数	2020年6月期3Q	一株	2019年6月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年6月期3Q	2,109,186株	2019年6月期3Q	2,097,439株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3.「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 事業等のリスクに関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、当第3四半期連結会計期間において、DSP事業等を営むデクワス株式会社の株式を新たに取得し、連結の範囲に含めております。

前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度においては、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期累計期間及び前連結会計年度との比較分析については記載しておりません。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に悪化しており極めて厳しい状況にあります。

先行きについても、感染症の影響により極めて厳しい状況が続くと見込まれており、感染症が内外経済をさらに下振れさせるリスクに十分注意する必要があります。

当社が深く関連する2019年のインターネット広告媒体費のうち、運用型広告費は1兆3,267億円（前年比125.2%）となり、前年に続き、大規模プラットフォームを中心に高成長となりました。大規模プラットフォームではない独立した専門型プラットフォーム（ニュースキュレーションメディアなど）も、前年同様、運用型広告の機能拡充を継続して大規模プラットフォームとの連携を深めた結果、広告費が増加しております。（出典：株式会社電通「2019年日本の広告費」2020年3月11日）

このような環境のなか、当社は、パーソナライズ・エンジン「デクワス」をコアとする各サービスや、デジタルナレッジマネジメントサービス（以下、「DKMサービス」という。）を提供し、顧客企業のインターネットを介したマーケティング活動支援に積極的に取り組んでおります。

その中でも当社の強みである、簡単にターゲティング広告を配信できる「デクワス・AD スタートバック」、画像解析エンジンによるビジュアルコマースサービスの「デクワス・VISION」を中心に、業績向上に注力してまいりました。

当第3四半期連結累計期間の既存サービスに関しては、パーソナライズ・アドサービスの売上高が好調に推移し、当社グループの業績向上に大きく貢献いたしました。またパーソナライズ・レコメンドサービスにおいても堅調に推移しております。

前期より取り組みを始めたDKMサービスは、当第3四半期連結累計期間において、今まで取引実績のなかった美容業界から、新規受注に成功いたしました。また、当社独自のサービスである「デクワス・マイビジネス」についても営業範囲を拡大し、医療分野での受注に成功いたしました。DKMサービスは、順調に収益を拡大して業績向上に寄与しておりますので、引き続き注力してまいります。

このような情勢のなか当社では、2020年3月にデクワス株式会社の株式を90%取得し、同社を子会社といたしました。同社は、DSP事業等を展開しており、取引先に対して日本企業ならではのきめ細やかな対応により、安定的な収益を確保しました。なお、同社については、2020年3月31日をみなし取得日として、当第3四半期連結会計期間より貸借対照表のみ連結の範囲に含めております。

コスト面では、新規事業に関する投資や上記サービス分野へ計画通り投資しつつも、効率的な人員配置による労務費の削減等、全社的なコスト抑制の取り組みを継続いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は733,081千円、営業損失は35,929千円、経常損失は34,345千円、親会社株主に帰属する四半期純損失は36,681千円となりました。

代表取締役をはじめとする取締役の役員報酬については、その経営責任を明確にするとともに、業績向上を期すべく減額を継続しております。

当社は単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、613,656千円となりました。その主な内訳は、現金及び預金346,024千円であります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は、70,781千円となりました。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、237,508千円となりました。その主な内訳は、買掛金81,554千円、前受収益82,641千円であります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は、6,250千円となりました。その内訳は、資産除去債務であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、440,678千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、当第3四半期より連結決算へ移行しております。第4四半期連結会計期間におきましては、当社グループにおいても、新型コロナウイルス感染拡大に伴うインバウンド需要の減少及び外出自粛や営業自粛要請等の影響が出始め、一部業種の取引先においては、サービスの停止やサービス検討の見送り等が発生しており、先行きが不透明な状況となっております。現時点では、連結業績に与える未確定な要素が多く、業績予想を数値で示すことは困難な状況であり、通期の連結業績予想については、合理的に予測が可能になった時点で公表いたします。

なお、通期の個別業績予想については、2020年3月25日に公表いたしました予想から修正しておりませんが、現時点では、新型コロナウイルス感染拡大に伴う当社の事業活動及び収益への影響を合理的に算定することが難しいため、当該影響を織り込んでおりません。今後、合理的な算定が可能となり、修正が必要となった場合は、速やかに開示いたします。

(4) 事業等のリスクに関する説明

当第3四半期連結累計期間及び本第3四半期決算短信提出日（2020年5月14日）現在において、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」につき、以下の追加すべき事項が生じております。

なお、文中の将来に関する事項は、本第3四半期決算短信提出日現在において当社グループが判断したものであります。

・M&Aにおける固定資産の減損リスクの影響

当社グループでは、連結貸借対照表において企業結合により生じた固定資産を計上しております。この資産については、今後の事業計画との乖離等によって計画したキャッシュ・フローを達成できない場合、当社グループの財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

・新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大による経済的影響

世界的に流行している新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が、国内においても急速にまん延し、2020年4月7日に新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言が発出されました。また、当社の本社所在地である東京都は、緊急事態措置を実施すべき区域に含まれております。

当社グループでは、全社員を対象とした在宅勤務の原則化など事業活動を継続しつつ感染拡大防止のための措置を講じておりますが、今後も感染拡大が終息せず外出自粛や営業自粛による国内経済の停滞が長期にわたる場合には、当社グループの事業展開及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間 (2020年3月31日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	346,024
売掛金	162,633
仕掛品	3,885
原材料及び貯蔵品	223
前払費用	88,275
その他	13,655
貸倒引当金	△1,041
流動資産合計	613,656
固定資産	
有形固定資産	16,779
無形固定資産	24,249
投資その他の資産	29,752
固定資産合計	70,781
資産合計	684,438
負債の部	
流動負債	
買掛金	81,554
未払法人税等	6,406
前受収益	82,641
その他	66,906
流動負債合計	237,508
固定負債	
資産除去債務	6,250
固定負債合計	6,250
負債合計	243,759
純資産の部	
株主資本	
資本金	800,961
資本剰余金	797,961
利益剰余金	△1,175,385
株主資本合計	423,537
新株予約権	11,448
非支配株主持分	5,692
純資産合計	440,678
負債純資産合計	684,438

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)	
当第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)	
売上高	733,081
売上原価	592,413
売上総利益	140,668
販売費及び一般管理費	176,598
営業損失(△)	△35,929
営業外収益	
受取利息	37
助成金収入	1,466
その他	80
営業外収益合計	1,584
経常損失(△)	△34,345
特別利益	
負ののれん発生益	3,471
特別利益合計	3,471
特別損失	
減損損失	8,927
特別損失合計	8,927
税金等調整前四半期純損失(△)	△39,801
法人税、住民税及び事業税	712
法人税等調整額	△3,832
法人税等合計	△3,120
四半期純損失(△)	△36,681
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△36,681

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)	
四半期純損失(△)	△36,681
四半期包括利益	△36,681
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△36,681

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。